

令和7年度教育研究調査事業実施要項

番 号	7-2	研究主題	県立高等学校教育課程課題研究（地理歴史、公民）			
期 間	令和7年度 1年	研究形態	共同研究 研究員 本庁連携			
研 究 員	県立旭丘高等学校	教諭 遠藤 慎也	県立城北つばさ高等学校	教諭 木村 純		
	県立旭陵高等学校	教諭 青木 良輔	県立天白高等学校	教諭 壺東 賀美		
	県立瀬戸北総合高等学校	教諭 田邊 充司	県立東郷高等学校	教諭 小池 遼太		
	県立小牧高等学校	教諭 小椋 光真	県立半田東高等学校	教諭 高松 浩平		
	県立衣台高等学校	教諭 大竹 生真	県立時習館高等学校	教諭 倉内 一輝		
	県立豊橋東高等学校	教諭 服部 良太				
運 営 委 員	運営委員長	県立杏和高等学校 校長	織部 匡久			
	運営副委員長	県立岡崎北高等学校 教頭	三輪 英世			
	運営副委員長	県立岡崎東高等学校 教頭	野崎 武史			
	運営委員	高等学校教育課 主査	猪俣 直樹			
		高等学校教育課 指導主事	松坂 和俊			
		高等学校教育課 指導主事	白河 格			
		学校支援研究課 研究指導主事	渡邊 芳隆			
		学校支援研究課 研究指導主事	稲山 紀彰（主務者）			

1 研究の目的

高等学校の地理歴史科、公民科教育について、調査及び情報交換を通して現状を把握し、当面する課題を明確にする。研究においては、学習指導要領の趣旨を踏まえた地理歴史科、公民科の授業の在り方を追究し、その成果を県内の高等学校に向けて発信することを目的とする。また、研究調査事業を通して、地理歴史科、公民科における指導的立場の人材の育成を図る。

2 研究の方法

研究員と運営委員による研究協議を行う。

3 研究の内容

- (1) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを充実させる授業の在り方について検討する。
- (2) 指導と評価の一体化を意識した単元指導計画の在り方について検討する。
- (3) 初任者研修や中堅教諭資質向上研修の教科指導研修にむけて、効果的なeラーニング教材を作成する。

4 研究の計画

第1回	6月20日（金）	研究方針の確認、実践計画の協議
第2回	8月 5日（火）	実践内容の検討
第3回	10月22日（水）	実践の経過報告
第4回	12月 3日（水）	実践結果の報告
第5回	1月23日（金）	研究のまとめ

5 研究の発表方法

- (1) 研究成果をまとめ、コンテンツとして当センターのウェブページに掲載する。
- (2) 初任者研修、中堅教諭資質向上研修でコンテンツを活用した指導方法を紹介し、活用を図る。